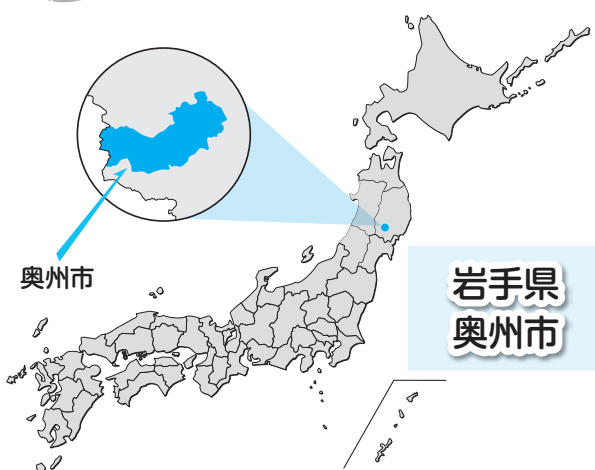


私のふるさと



大袋町
岩淵 美紀 さん



tette 情報

■ tetteスクールなど

市民交流センター ☎(73)4407

tetteスクール 「市民大学3時限」

講師 田中みゆきさん(キュレーター・プロデューサー)
12月13日(金) 午後6時30分～8時 ※事前申込

tetteスクール 「市民大学4時限」

映画「ナイトフルージング」上映
12月14日(土) 1回目 午前10時30分～12時54分
2回目 午後3時～5時24分

※事前申込。各回上映後、本作品のプロデューサー・田中みゆきさんによるミニトークを行います。

tetteスクール 「ミステリーツアー プランM」

12月22日(日) 午後6時～7時30分
※12月14日(土)午前9時から事前申込

tette開館1周年記念イベント開催決定！

令和2年1月12日(日) 1階「たいまつホール」ほか
※詳しくは、広報すかがわ1月号やホームページなどでお知らせします。

● 年末年始休館のお知らせ

休館日 12月29日(日)～令和2年1月3日(金)
※12月28日(土)は、午後5時まで開館

私のふるさととは、岩手県奥州市です。平成18年に、水沢市、江刺市、胆沢郡の前沢町、胆沢町、衣川村の2市2町1村が合併して誕生した、比較的新しい市です。

奥州市は岩手県の内陸南部に位置し、北には風の又三郎で有名な宮沢賢治の出身地である花巻市、南には世界遺産に登録された平泉・中尊寺があり、焼石連峰が広がる、自然と歴史に囲まれた地域です。

名産では、ブランド牛の前沢牛や江刺りんごなどがあります。他には国立天文台「水沢VLBI観測所」があり、4月に発表された世界初のブラックホールの撮影では、主にチリの望遠鏡の運用と画像解析を行うなど、世界的プロジェクトに参加している素晴らしい設備があります。そして、プロ野球選手でメジャーリーグのエンゼルスで活躍する、大谷翔平選手の出身地でもあります。

奥州市は、観光面でも見所が近くにたくさんあり、須賀川にゆかりのある後藤新平是水沢出身なので、少々遠いですが、機会があれば一度行ってみてください。

主人の転勤で須賀川に来て10年近くになりますが、釈迦堂川の桜に始まり、きうり天王祭、花火大会、松明あかしと見所やイベントがたくさんあり、1年を通して家族みんなで楽しく過ごしております。

■ こどもセンターのイベント・講座

こどもセンター ☎(76)6687

ママカフェ 「2～3歳児のママ限定」

12月11日(水) 午前10時30分～11時30分
※事前申込

お誕生日カードづくり&記念撮影

12月13日(金)・令和2年1月9日(木)
午前10時～午後4時 ※事前申込時に希望時間を予約

童謡うたあそび

12月20日(金) 午前10時30分～11時 ※自由参加

クリスマス・コンサート

12月21日(土) 午後2時～2時30分 ※自由参加
出演 つじむらゆみこ(シンガーソングライター)、さとうまさひこ(ギタリスト)

■ 図書館だより

中央図書館 ☎(75)3309

読み聞かせ会など(クリスマススペシャル)

内 容	日 時	会 場
こども読み聞かせ会 (読み聞かせの会ポケット)	12/14(土) 14:00	tette2階 「こども ライブラリー」
おひざにだっこのおはなし広場 (お話の会う・ポム)	12/18(水) 11:00	tette3階 「ルーム3-3」



サークルとわたし



大谷地ひまわり3B会

代 表 者 阿部 美代子

会 員 17人

発 足 年 月 平成25年1月

連 絡 先 ☎(72)4570

活 動 日 月3回(月曜日)

活 動 場 所 大谷地公民館

皆さん「3B体操」をご存知ですか？

ボール・ベル・ベルターという「3つのB」を使って、様々な音楽に合わせて行う体操で、1971年に福岡市で誕生しました。

仁井田公民館主催の「やまなみ学校」の講座で、この3B体操に出会いました。「もっと続けてみたい」という仲間と共に、平成25年1月から、公認指導者の岡裕子先生指導の下、月3回活動しています。

会員は60～80歳代までと幅がありますが、仁井田公民館主催の「芸能発表会」に参加することを目標に、毎回和やかに楽しく体を動かしています。ベッツィ&クリスの「白い色は恋人の色」や、中島みゆきの「麦の唄」など色々なジャンルの曲で発表会に臨んでいます。皆さんも一緒に体を動かしませんか？



ふるさとの遺産

須賀川アルバム No.304

－昭和の記録写真から－

「大町の消防池(防火水槽)」 (昭和40年代)



防火への備えに重要な役割を果たしました

写真は、大正時代に造られた防火用の貯水槽です。現在の火災は、大町火災の場所にあった。町の家屋が木造で密集していた時代は、火災が起きると短時間で大きな被害が出ました。須賀川の大町として知られる明治24年5月16日の火災では、午前1時40分に出火して鎮火するまでの3時間に、町の家屋の3分の2にあたる559戸が全焼し、土蔵114棟も被災しました。須賀川町は丘陵部にあり、当時は水の便が悪く防火用水堀もほとんどありませんでした。この反省を基に、大正5年から昭和4年にかけて、須賀川町内45カ所に防火水槽が造られました。昭和40年代以降の上水道普及で、防火への備えは消火栓が中心となり、写真のような防火水槽は姿を消しつつあります。

39 博物館 ☎(75)32

有料のイベントもありますので、詳しくは各施設へお問い合わせください。